



令和5年度 南富良野西小学校

後期学校評価「結果」について

昨年11月下旬から12月上旬にかけて、令和5年度の児童の様子及び学校運営等について、児童・保護者・教職員へのアンケート(評価)を実施いたしました。その結果と改善策についてご報告いたします。

『児童・保護者・教職員のアンケート結果』

No.	アンケート項目	児童結果			保護者結果			教職員結果		
		7月結果	12月結果		7月結果	12月結果		7月結果	12月結果	
①	学校の学習内容をよく理解できていましたか。	3.5	3.4		3.1	2.9	△	3.1	3.1	
②	自主的に宿題に取り組んだり、授業の準備を進めたりするなど、学習に対して意欲的な姿が見られましたか。	3.4	3.4		3.1	2.7	△	3.3	3.2	
③	宿題や家庭学習を毎日しっかりと行っていましたか。	3.5	3.1	△	3.0	2.7	△	3.2	3.1	
④	家族や友達など周りの人に、思いやりのある言葉遣いを心掛け、楽しく学校生活を送っていましたか。	3.3	3.2		2.9	2.9	△	2.8	2.8	△
⑤	しっかりとした返事や挨拶を誰に対しても行っていましたか。	3.7	3.5		3.0	3.0		3.0	3.3	
⑥	友だちと協力し合ったり、互いに励まし合ったりして生活していましたか。	3.6	3.5		3.4	3.1	△	3.3	3.2	
⑦	きまりや約束を守り、自分の健康や安全に気を付けて毎日の生活を送っていましたか。	3.8	3.5	△	2.9	3.0		3.3	3.2	
⑧	進んで運動していましたか。	3.8	3.8		3.1	2.7	△	3.4	3.1	△
⑨	「早寝・早起き・朝ごはん」など、基本的な生活リズムを意識した生活をしていましたか。	3.5	3.5		3.1	3.1		3.4	3.3	
⑩	学校は、地域の人材を活用し、家庭や地域と共に教育活動を推進していると思いますか。	3.7	3.7		3.6	3.3	△	3.9	3.4	△
⑪	決められた時間を守り適度にゲームやタブレット等に親しむことができていますか。	3.4	3.3		2.8	2.3	△	3.0	2.8	
⑫	学校は、家庭・地域との連携を図り信頼される学校づくり、地域とともにある学校づくりを進めていると思いますか。	-	-		3.5	3.3		3.7	3.6	
⑬	自分には(お子さんには)、家で読書に親しんでいますか。(家庭学習の読書も含めます。)	3.1	3.0		2.5	2.4		3.0	3.0	
⑭	自分には(お子さんには)、自分のよさを理解し、自信をもって活動していましたか。	2.9	3.0		3.0	3.0		3.0	3.2	

※評価が低いものや(3.0未満)7月より大きく下がっているもの(0.3ポイント以上)は赤字で示しました。

※改善に向けて重視した項目に△を付けています。

※アンケートの中の13,14の数値が入れ替わっておりましたので、お詫びして訂正いたします。申し訳ありませんでした。

後期アンケートの考察

- 後期アンケートは、全体的に下落傾向となりました。要因の一つに、「4(とてもそう思う)」か「3(まあまあそう思う)」を選択する際、4ではなく3と答える方が増えたことがあります。これまで学校が適正に教育活動に動いていると認識していただけに、何か戸惑いや迷いを感じさせる部分があったと受け止め、学校の活動の周知や教育の成果を「子どもの姿で示す」ことをより重視して進めていきたいと考えます。
- また、家庭での子どもの姿が、懇談等で聞いている様子と違っているような印象を持たれていることも要因ではないかと考えています。新しい学び方(主体的で対話的な深い学び~個別最適な学び、協働的な学び)による学習の進め方や学ぶ姿を伝えていなかったのではないかと考えています。
- 家庭学習や読書習慣、インターネットや動画、ゲーム等の関わり方について、学校から例を示すことができていない可能性があると考えています。例えば、読書習慣です。自ら進んで本を読む子どもを育てるための方法を示すことができておりません。それと同じように、他の部分でも保護者のニーズを捉え、具体策として示すことができていないのではないかと考えています。
- 上記の課題を踏まえ、後期~次年度前期の取組については、できるだけ具体的に分かりやすく周知することを念頭に、お子様の成長や学びの成果をご家庭で実感できるように「姿」を見せることや、「子どもを主語」にした学校づくりを進めていきたいと考えています。

保護者の皆様からの「ご意見」

- ・発達段階的にも周りのことで悩んだり不満を口にしたりすることもあります。学校は好きでいてくれているようです。自信がなく一歩引いてしまったり諦めてしまったりする様子もあります。今後とも一人一人が互いを認め合えるような学校であることを期待しています。
- ・日々子どもたちの学びのため、ご支援ありがとうございます。子どもは、担任や関わった身近なおとなの一挙手一投足をみています。未熟ながらも、自分の生き方を育もうと、悩んだり、葛藤したりして、考えを深め色々な形で表現しています。引き続き、学校だより第3号とあわせて第6号の、『サーバントリーダー』を進めていただきたいと思います。
- ・毎回同じなので、割愛させていただきます。

学校評価を受けて、3学期以降の改善策

学校評価の際にいただきましたご意見は、反省会議の中で検討し、改善案を示させていただいておりますが、なかなか具体的な改善につながっていない、あるいは、子どもたちの姿として届いていないというご意見として受け止めます。学校は、本年度、コロナの影響が少なくなり、学習機会を取り戻していくことと同時に、ICTを活用した新しい学び方や「主体的で対話的な深い学び」を学びの柱にすべく取り組んできました。ただ、成果や成長として見えづらい点があることや家庭教育(読書活動や運動習慣、家庭学習等)へのフォローアップについて不足している点があるかも知れないことを課題として受け止め、お子様の成果・成長を具体的な姿として見えるように指導していかうと検討しているところです。今後とも、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

- 学力向上について**...①主体的な学びを達成するための授業改善を進めてきています。それに伴い、家庭学習についても主体性を育むよう内容を検討して出します。②ICTを活用した学びを更に進め、「わからないことは」進んで調べる、まとめをICTで行う等、効果的に活用する力を伸ばします。
- 思いやりの心(言葉)をもった児童の育成**...①場面や相手に対する接し方の個別指導を充実させます。具体的には、○使ってほしい言葉をクローズアップして、指導する(例、ありがとう週間など)、○友達のよいところに注目させる取り組み、○10月臨時児童集会の継続的な意識づけ、○公共の場での言葉遣いについての理解を広げる指導等です。②道徳の指導や朝の会・帰りの会、その他1日の生活時間の中で道徳性を発揮する場を設定し、実践させると共に振り返ることで概念化を図ります。
- メディアに触れる時間**...①メディアを有効活用すれば、活用時間は増えます。生活リズムを崩さず健康的に利用する、利用にあたっての約束を守る、安全に利用するといった考え方、方針で指導していきます。
- 体力づくりの場の設定、家庭との連動強化**...①体力アップコーナーを設置し、降雪期の運動の場づくりという観点をもってホールに設置し、短い休み時間の間にも気軽に活用できるようにします。②体育館を学級ごとに割り当てて活用していますが、竹馬等の道具の有効活用を促進するため、ホールを運動の場にする方法も検討しています。③どさんこ元気アップチャレンジ等の取組に積極的に参加します。また、次年度に向けて、「チャレンジタイム」の内容を検討し、継続的に運動できる機会を増やします。
- 地域・保護者への情報発信・提供、連携の強化**...①目指す子どもの姿や目標を積極的に発信していきます。②地域行事への参加、地域素材・人材の活用等を促進し、学校だよりで活動内容を報告していきます。